

# 独立行政法人地域医療機能推進機構

## 第二回 二本松病院地域協議会

### 議 事 録

日時：平成 27 年 3 月 24 日（火）18 時 30 分～19 時 30 分

場所：病院会議室

出席者：代理出席 阿部 洋子（二本松市市民部健康増進課長）

佐藤 正弘（二本松市福祉部部長）

原田 眞作（安達地方広域行政組合消防本部警防課長）

安齋 英雄（二本松市社会福祉協議会副会長）

原 健二（原医院院長・二本松病院地域協議会副委員長）

藤田 俊徳（二本松薬剤師会会長）

矢吹 孝三（二本松市民生児童委員協議会会長）

吉野 正昭（二本松市岳下区長会会長）

六角院長・柳沼副院長・藤原事務長・佐藤総看護師長・小島薬剤科長・

遠藤副施設長・熊本係長（書記）後藤係長（書記）

欠席者：遠藤 幸男（福島県北保健福祉事務所所長）

土川 研也（安達医師会会長・二本松病院地域協議会委員長）

斎藤 仙治（二本松市市民部部長）

議事内容（藤原事務長進行）

・協議会次第にそって

1. 開会

2. 院長挨拶

・本日は、お忙しいところ第二回目の二本松病院地域協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

昨年 4 月に、地域医療機能推進機構二本松病院（JCHO 二本松病院）として新たにスタートして間もなく 1 年が経過するところですが、病院をはじめ健康管理センター、附属老人保健施設、訪問看護ステーションなど、何とか滞りなく運営されているところです。

これもひとえに、地域の皆様方のご支援の賜物と、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

当院は、今後さらに進んでいく高齢化社会において、当院の診療機能を生かした医療が

ら附属老健、訪問看護など介護、在宅療養に至るまで、地域で相互に連携できるような体制づくりを、地域の皆様と一緒にあって取り組んでいきたいと考えております。

今日は、平成26年度（2月まで）の運営状況について、概要をご説明して合わせて新年度における事業の取り組みについて、ポイントをご説明したいと考えております。

より良い病院づくりを目指していくために、様々なご意見をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

### 3. 議事（原医院院長進行）

#### 1) 二本松病院の運営状況について（藤原事務長より説明）

- ・地域協議会資料に沿って説明（平成27年2月分収支状況、2月まで累計分、入院、外来患者数、診療額等）
- ・平成27年度事業計画について

#### ～質疑応答～

：二本松市市民部健康増進課阿部課長

1月入院患者増の要因はなんでしょうか。地域の病気の特長など教えてほしい。

：六角院長

インフルエンザが多かったのと、救急患者の受け入れにより入院患者増に繋がりました。

：原医院原院長

介護施設の入所の状況はどうですか。

：六角院長

入所はほぼ満床となっております。

#### 2) 二本松病院地域における役割について（意見交換）

：社会福祉協議会安齋副会長

経営状況をお聞きして頼もしい限りです。

黒字が続き、新年度への事業の取り組みも心強いです。

：児童民生協議会矢吹会長

産科の再開はむずかしいのですか。産科医には是非、二本松市に来てほしい。

：六角院長

医大からの派遣は難しく、また関係団体にもお願いをしていますが、はっきりとした返事はまだ来ていません。

当院には助産師がいて分娩施設があるのに、お産が出来ないのは、とてもさみしいです。今後も継続して努力していきます。

**: 二本松市市民部健康増進課阿部課長**

救急医療、当番医、特定健診などでお世話になりありがとうございます。また地元での救急受け入れに、とても感謝しています。

平成 27 年度は、施設がん検診も受け入れて頂きありがとうございます。市としても今後検診を推進し改善していきますので、宜しくお願いいたします。

**: 二本松市福祉部佐藤部長**

地域包括ケアの取り組みに感謝いたします。新年度に向けまして高齢者計画を安達医師会さんと協議を進めており、包括ケアシステムの構築に向けても取り組んでいます。

また、認知症集中支援チームの関係団体とも協議を重ねていきますので、ぜひ二本松病院にご協力をお願いしたい。

**: 消防原田課長**

現在の救急医療体制になってから病院選定に苦慮していますが、積極的に救急の受け入れをして頂きありがとうございます。

また、以前にもお話しましたが、救急救命士の病院研修受け入れも前向きに検討頂きたく、二本松病院のご協力をお願いしたい。

**: 六角院長**

救急は出来る限り対応したいと思っています。ただし疾患の専門性、例えば脳梗塞や脳出血、循環器科等を有する患者は直ぐに専門病院で対応頂けるように救命士の方には敏速な判断をお願いしたい。また研修についても受け入れていきたいと思っています。

**: 消防原田課長**

病院研修を通して救急隊と医師が顔の見える関係を築いていきたいと考えております。

**: 薬剤師会藤田会長**

医大より応援を頂いている皮膚科、呼吸器科、循環器科など診療しているが、市民の方は二本松病院で診療していることがわからない方が多く、PR不足ではないのでしょうか。

**: 六角院長**

どうやってPRしたらいいのでしょうか。

**: 薬剤師会藤田会長**

高齢者の方々にわかりやすい新聞等とかのPRはどうでしょうか。

**: 原医院原院長**

まずは口コミではないのでしょうか。以前開催していた開院記念祭など人が集まる機会があるとPRにつながるのではないのでしょうか。

**: 岳下地区吉野区長**

全国にある57のJCHO病院の人事交流はありますか。中央のパイプを通して産科医の派遣をお願いしたい。

**: 六角院長**

医師の異動は今のところありませんが、看護師の病院間異動は行っています。今後も JCHO 病院間で交流を図りたいと思っています。

**: 原医院原院長**

福島県の医師不足は深刻な問題です。また地域の開業医の高齢化が進んでいるのも心配です。

**: 六角院長**

医大でも医師不足の対策をいろいろ行っていると聞いていますが、充足されるには時間がかかるようです。

**: 原医院原院長**

その他何かないでしょうか。

それでは予定の時間も近づいてきましたのでこの辺で議事を終了します。

#### **4) その他**

次回の開催日は平成 27 年 7 月を予定させていただきます。

#### **5) 閉会**

本日はお忙しいところありがとうございました。